



福知山市自然科学協力員会研修会

「おさだの自然」から 30年

～鳥たちの今～



2012年5月26日
大槻 浩

内容

自然科学協力員が参加した長田野工業団地生物調査の報告書「おさだのの自然」発行が1977年です。

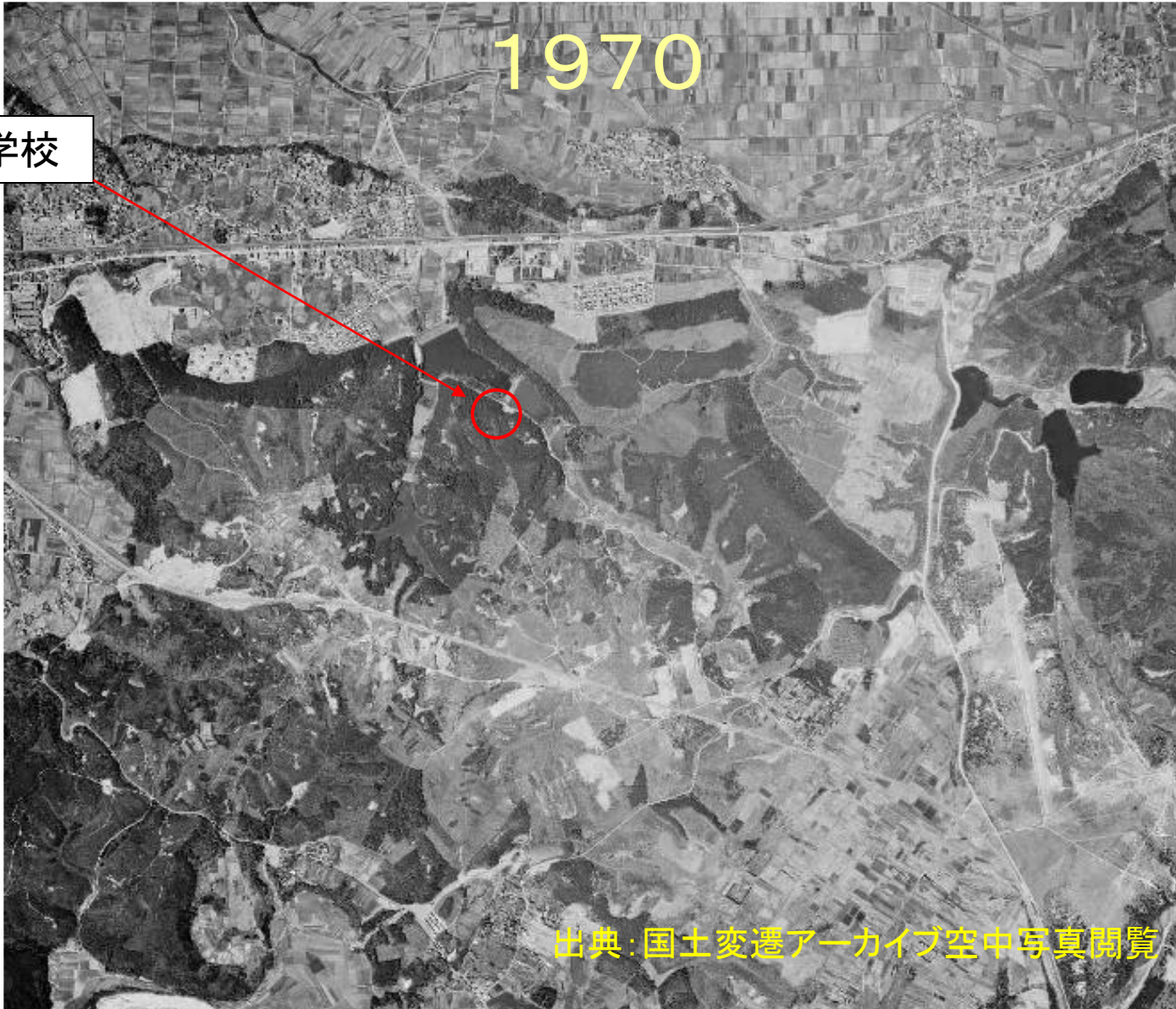
私が長田野の工場に勤務していた2010年当時、昼休みに長田野公園と工場外周を歩きながら鳥を観察しました。

この30年で鳥類相はどう変わったのか比較してみました。

長田野の変遷(造成前)

1970

日新中学校

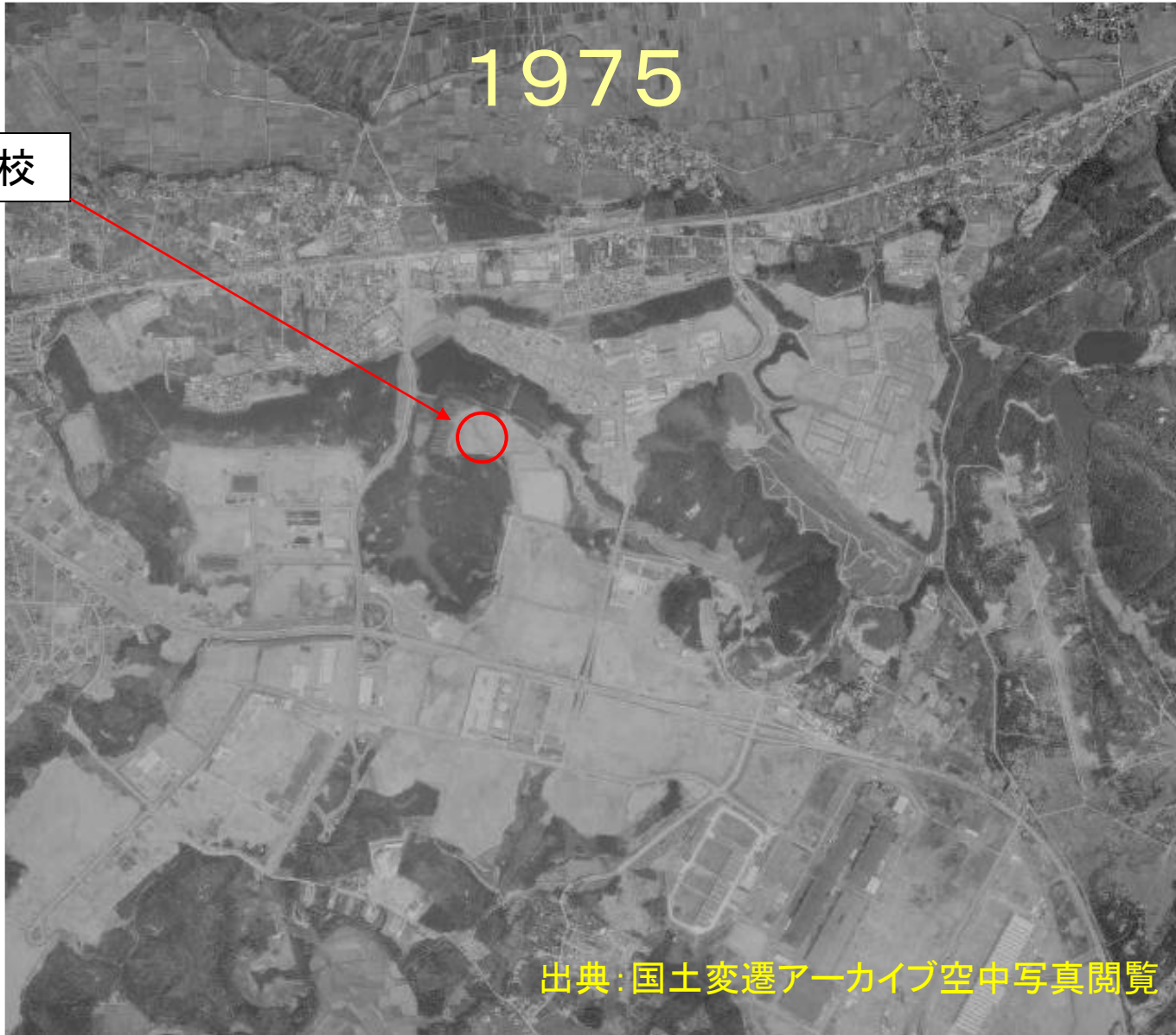


出典: 国土変遷アーカイブ空中写真閲覧

長田野の変遷(造成後)

1975

日新中学校



出典：国土変遷アーカイブ空中写真閲覧

長田野の変遷(現在)

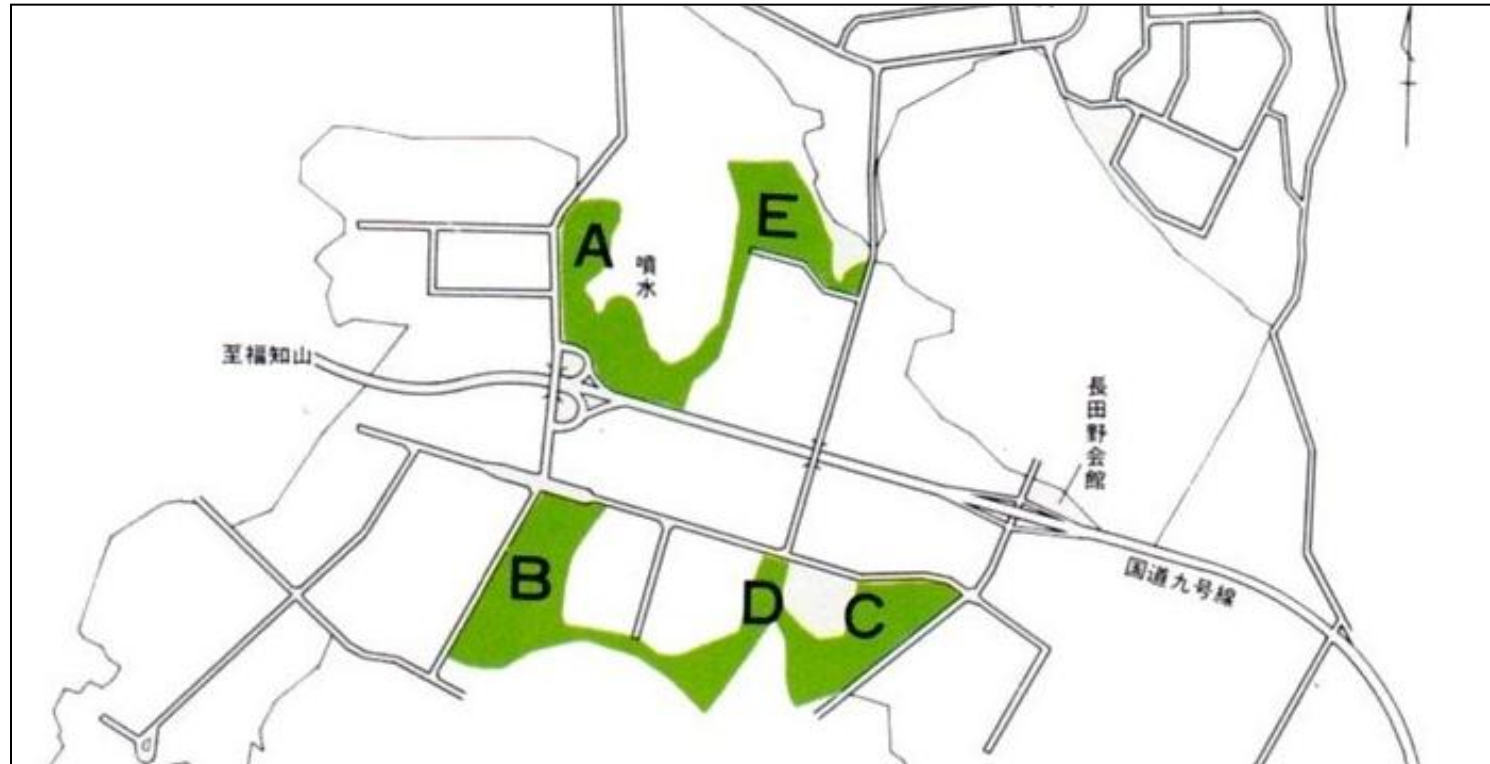
2006

日新中学校



出典: 国土変遷アーカイブ空中写真閲覧

生物調査の範囲(1975年)



記号	名称	面積	地域概況
A	長田野公園 噴水広場	8.4ha	前田西奥池周辺の自然林と噴水大芝生の人工公園
B	市の谷公園 養老の森	8.2ha	自然林を残した溪谷であり、人工池・散策路を配している
C	市の谷公園 仲よし広場	7.2ha	中央に松、雑木の自然林を配した広場の公園
D	市の谷公園 けいじゃ池付近	2.4ha	古い溜池が湿地を形成している
E	長田野公園 運動広場	5.7ha	運動場を中心にした人工緑化地区

出典:おさだの自然 ー長田野工業団地生物調査報告書ー 昭和52年3月 京都府中丹教育局

長田野工業団地の鳥類(1975年)

鳥類36種を確認

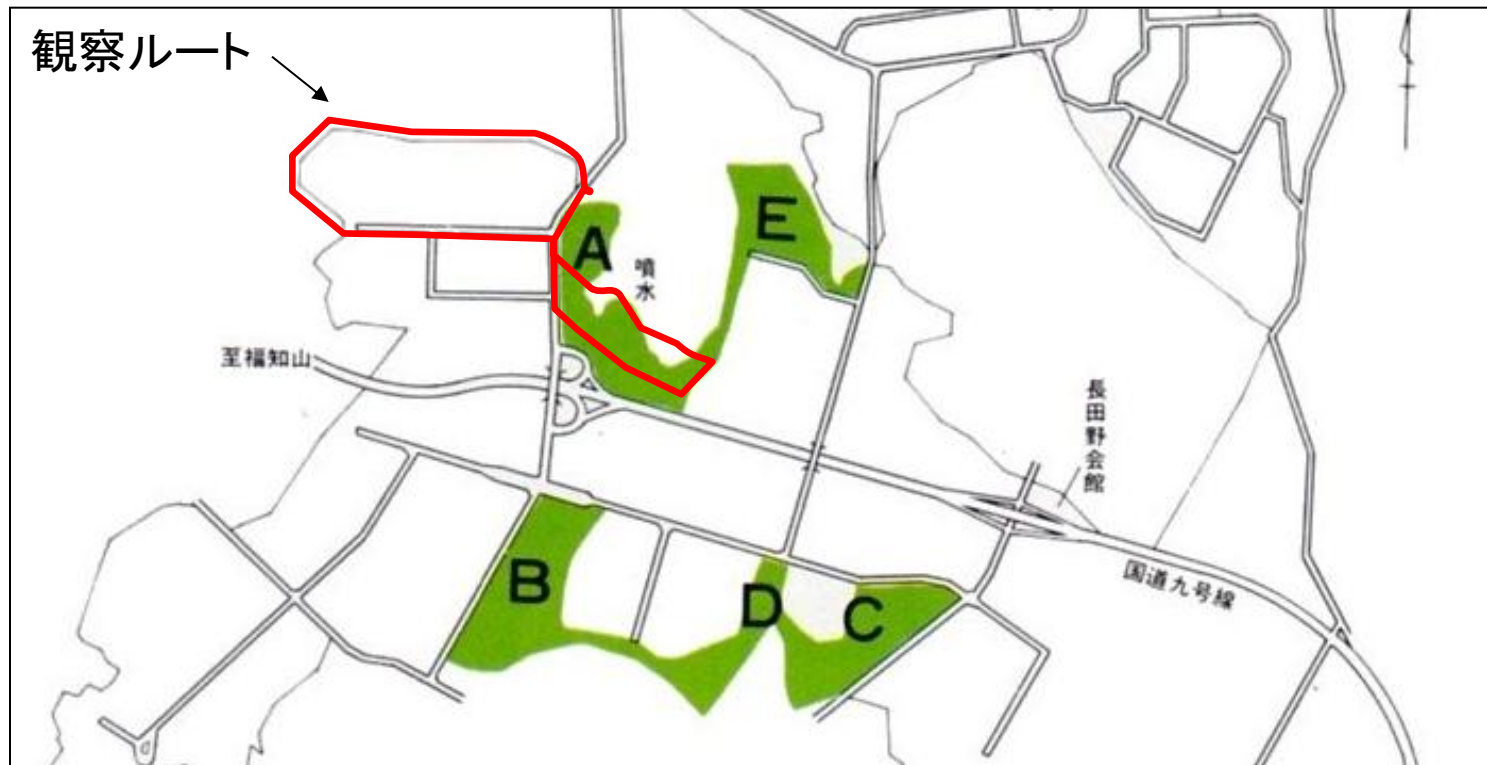
長田野工業団地の鳥類

長田野工業団地の生物調査が昭和49年～昭和50年に行われ、鳥類36種が確認されています。

No.	科名	種名	地域	渡り	頻度	備考
1	からす	はしぼそがらす	全	留		
2	〃	かけす	A・B	〃		冬期に多い
3	むくどり	むくどり	A	〃		秋冬大群飛来
4	きんばら	すずめ	全	〃	多	工場敷地に多い 繁殖
5	あとり	いかる	A・B・D	〃	少	冬期飛来
6	〃	かわらびわ	全	〃	多	繁殖
7	〃	ほおじろ	〃	〃		
8	〃	かしらだか	A	冬		春に多し
9	ひばり	ひばり	全	留	多	工場造成地 繁殖
10	せきれい	たひばり	〃	冬		造成地に飛来
11	〃	せぐろせきれい	A	留	少	噴水付近
12	めじろ	めじろ	B	〃		
13	しじゅうから	しじゅうから	A・B・C	〃	多	
14	〃	えなが	〃	〃	〃	しじゅうからと群棲

鳥類観察ルート(2010年)

1975年の調査範囲A(長田野公園)に加え、
周辺工場の外周道路を観察しました



長田野工業団地の鳥類(2010年)

鳥類40種を確認

2012年5月26日

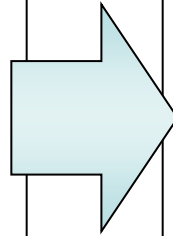
長田野公園周辺の野鳥観察記録
大槻浩

No.	種名	備考
1	トモエガモ	
2	ヒドリガモ	冬期、西奥池にくることがある
3	カルガモ	
4	マガモ	
5	コガモ	
6	キンクロハジロ	冬期、西奥池にくることがある
7	キジ	
8	ホトトギス	
9	キジバト	
10	カイツブリ	
11	ゴイサギ	
12	アオサギ	西奥池にくることがある
13	トビ	
14	フクロウ	春期、緩衝緑地で鳴くことがある

出典:長田野公園周辺の野鳥観察記録 2012年 大槻浩

鳥の種類の変化は？

1975年
鳥類36種



2010年
鳥類40種

両年とも観察された鳥

32種

新たに観察された鳥

8種

今回観察されなかった鳥

4種

増えた鳥？減った鳥？

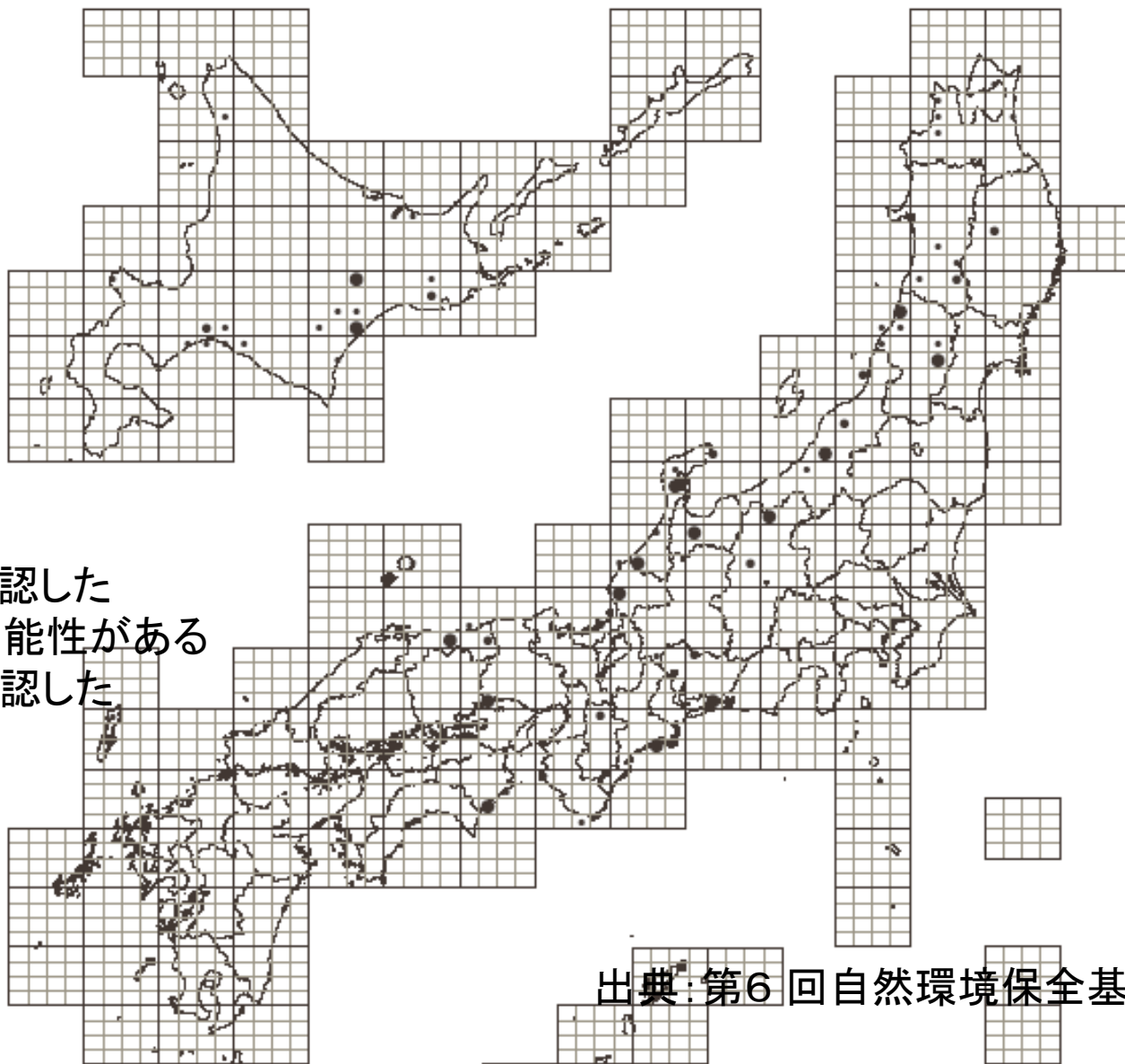
両年とも観察された鳥 32種	新たに観察された鳥 8種	今回観察されなかった鳥 4種
ハシボソガラス、カケス、ムクドリ	アオサギ	ヨタカ
スズメ、イカル、カワラヒワ	ヒドリガモ	アオバズク
ホオジロ、カシラダカ、ヒバリ	キンクロハジロ	コチドリ
タヒバリ、セグロセキレイ、メジロ	フクロウ	タシギ
シジュウカラ、エナガ、モズ	ハクセキレイ	—
ヒヨドリ、ウグイス、シロハラ	イソヒヨドリ	—
ツグミ、ジョウビタキ、ツバメ	キビタキ	—
コシアカツバメ、ホトトギス、トビ	ハシブトガラス	—
ゴイサギ、マガモ、カルガモ	—	—
トモエガモ、コガモ、カイツブリ	—	—
キジバト、キジ	—	—

新たに観察された鳥

新たに観察された鳥 8種	コメント
アオサギ	近年全国的に分布を拡大しており、福知山市内でも増えています。河川や池など水辺で普通に見られるようになっており、工業団地の水辺にも進出してきたのではと思います。
ヒドリガモ キンクロハジロ	冬期、福知山市内の河川や池で普通に見られます。長田野公園の西奥池にいたり、いなかったりするので、1975年の調査時には観察されなかったのではと思います。
フクロウ	個体数が少なく、夜間の鳴き声で確認されることが多いので、1975年の調査時には観察されなかったのではと思います。
ハクセキレイ イソヒヨドリ	近年全国的に分布を拡大しており、福知山市内でも増えています。河川、池、田圃や街中で普通に見られるようになっており、工業団地にも進出してきたのではと思います。
キビタキ	緩衝緑地の松林内に広葉樹などが侵入、成長し、キビタキの生息環境に適してきたので進出してきたのではと思います。
ハシブトガラス	周年、福知山市内で普通に見られます。1975年の調査時には、たまたま観察されなかったのではと思います。

アオサギの全国分布(1970年代)

1974年－1978年 メッシュ数 A=15 B=12 C=42



- A:繁殖を確認した
- B:繁殖の可能性がある
- C:生息を確認した

出典: 第6回自然環境保全基礎調査

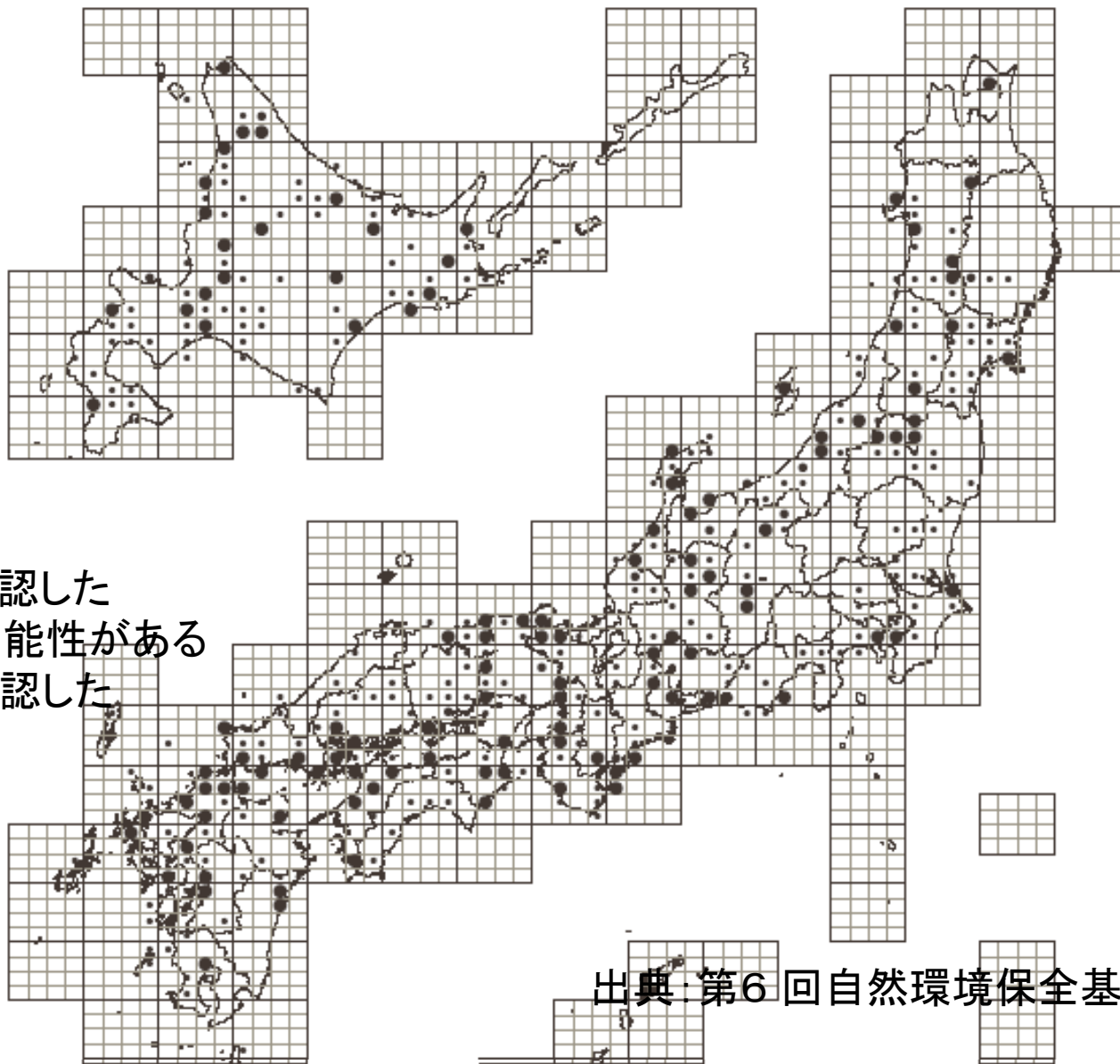
アオサギの全国分布(1990年代)

1997年－2002年

メッシュ数

A = 114 B = 13 C = 279

A = +99 B = +1 C = +237 計 = +337



A:繁殖を確認した

B:繁殖の可能性はある

C:生息を確認した

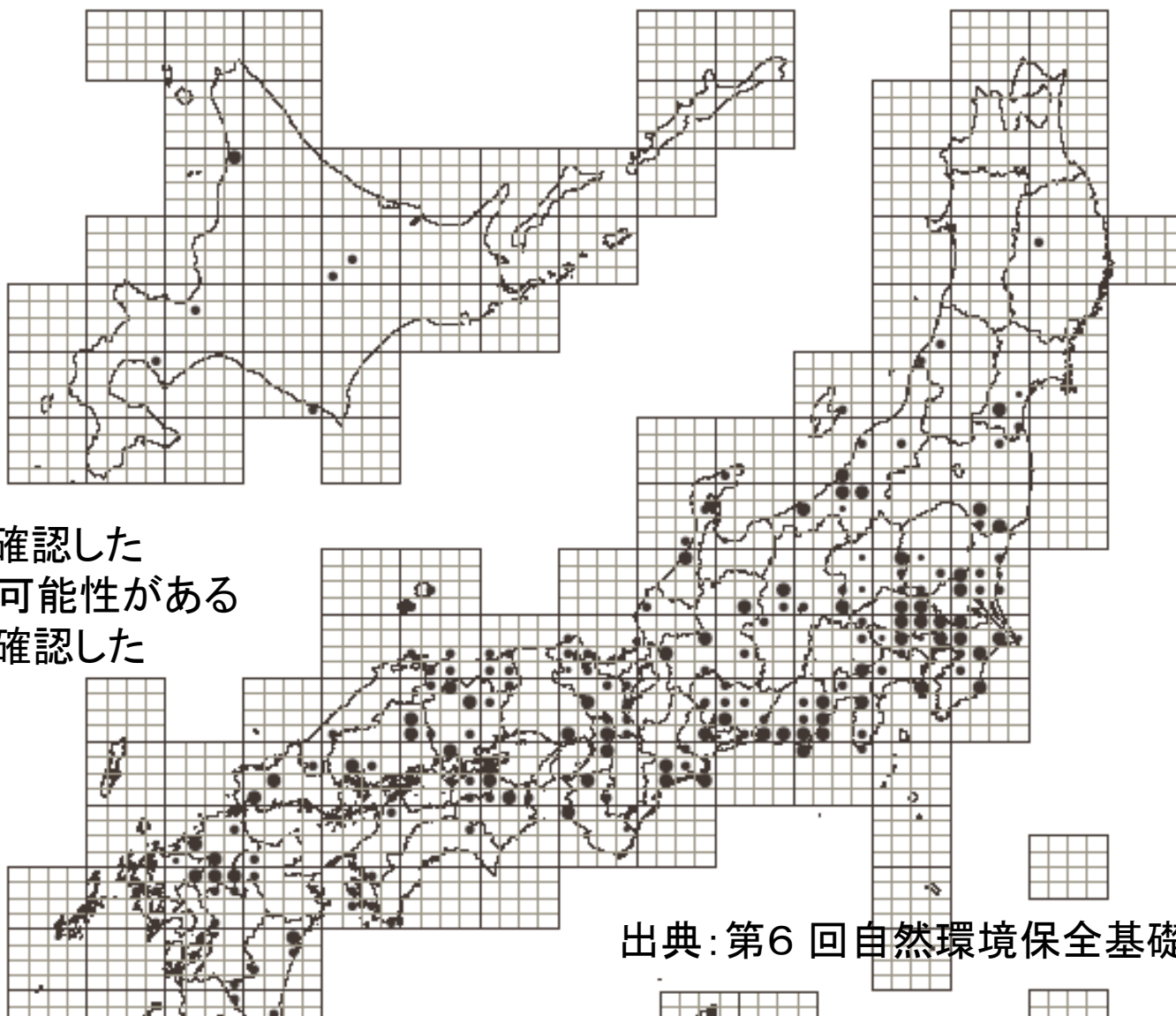
出典 第6回自然環境保全基礎調査

今回観察されなかった鳥

観察されなかった鳥 4種	コメント
ヨタカ	近年全国的に分布を縮小しています。 ヨタカは 伐採地・若い植林地・疎林など、開けた環境に営巣します。 1975年時には、そうした環境があったのですが、2010年には無くなっており、観察されなかったと思われます。
アオバズク	近年全国的に分布を縮小しています。 アオバズクは 樹洞を持つ大木 に営巣します。餌は昆虫です。 1975年時には、営巣木や昆虫が豊富な環境があったのですが、2010年には無くなっており、観察されなかったと思われます。
コチドリ	コチドリは砂浜、河原、埋め立て地など裸地（砂礫地）に営巣します。 1975年時には、造成地（砂礫地）が多くありましたが、2010年には工場建築物や舗装で裸地は無くなっており、観察されなかったと思われます。
タシギ	冬期～春期、河川、池や田圃で普通に見られます。 1975年の調査時には、市の谷公園けいじゃ池付近で観察されていますが、長田野公園では確認されておらず、2010年にも観察されませんでした。

アオバズクの全国分布(1970年代)

1974年－1978年 メッシュ数 A = 68 B = 111 C = 18



- A:繁殖を確認した
- B:繁殖の可能性がある
- C:生息を確認した

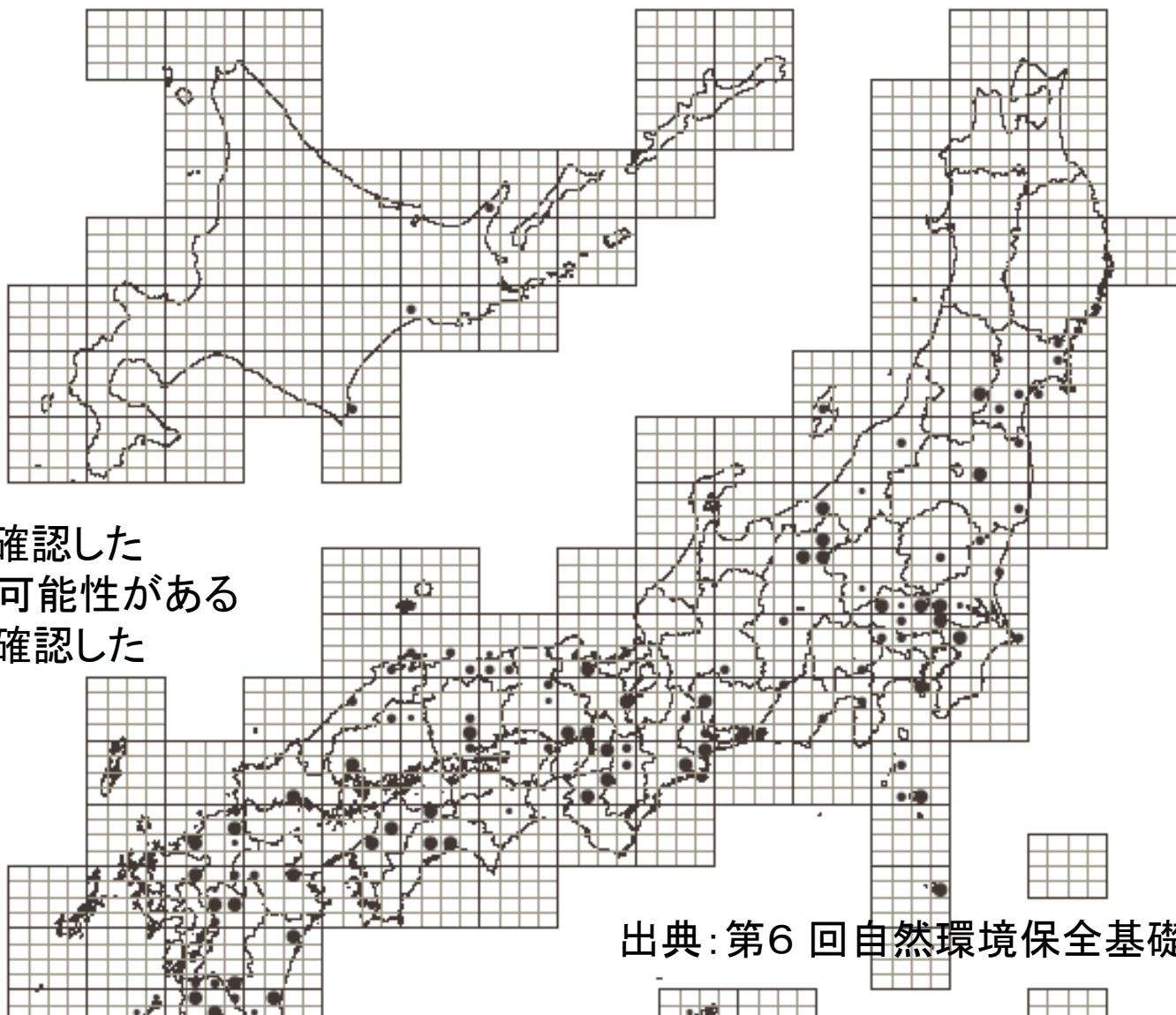
出典: 第6回自然環境保全基礎調査

アオバズクの全国分布(1990年代)

1997年－2002年

メッシュ数 A = 47 B = 60 C = 25

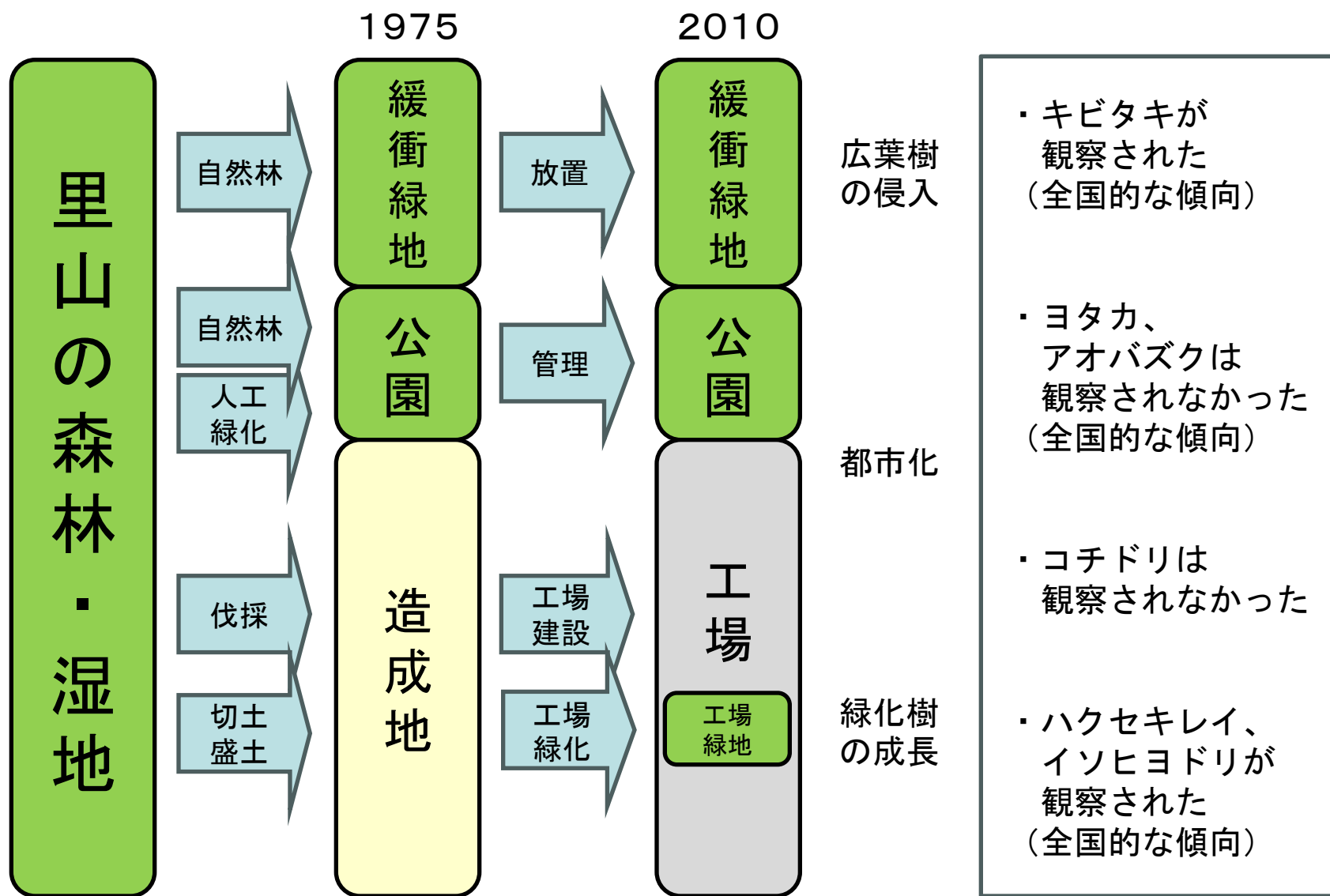
A = -21 B = -51 C = +7 計 = -65



- A:繁殖を確認した
- B:繁殖の可能性がある
- C:生息を確認した

出典:第6回自然環境保全基礎調査

長田野の環境変化と鳥の変化



おわりに

30年前の「おさだの自然」の鳥類目録と
2010年に観察した鳥類記録を比較した結果、
鳥類相の変化が確認されました。

なぜ、変化したのかは良く分かりません。

変化を評価する方法も知りません。

子どもの頃、よく聞いたアオバズクの鳴き声
が聞こえないのは淋しい思いです。

ご清聴ありがとうございました

